

社団法人北九州青年会議所 第57代理事長

松尾 孝治

今月号の対談は

今年3月に下関市長に就任され
JCの先輩でもある中尾友昭氏をゲストに
松尾理事長と語り合っていました



Matsuo Koji

北九州を
カタルヒト。
vol.08

山口県下関市長

中尾 友昭



Nakao Tomoaki

道州制が進んでも行政区を超えた 連携と観光ブランドの共有が必要。

松尾 まずは下関市から見た北九州市、また関門地区のこれからの役割や展望をお聞かせください。

中尾 まず一つ目に、政治が中央集権から地方分権へととなると、道州制というものが進むと思います。九州(州)や中国州などになる。連携で関門市という構想があって、それは素晴らしい考え方ですが、行政区を越えて決行することは難しいと思います。ただし九州(州)ができて北九州市は九州の北端ですし、中国州ができて下関市は中国の西端です。端というのは総合支所すなわち拠点ができます。あとは連携だけです。二つ目に関門の観光ブランドがあります。観光ルートとして門司から下関にかけての連携が素晴らしいと思います。「海峡のまち下関」。下関側から見ると「海峡のまち北九州」。「海峡のまち」はお互いが共有しており、観光・文化・歴史・産業の全てが集約されています。さらに三つ目は、東アジアに向けたゲートウェイです。これに関しては門司港それから北九州空港もありますし、そういった面で北九州市は、国際的な物流の拠点ですね。そこに下関市も間違いなく北九州経済圏に入っております。それはもう行政区は二の次です。行政区で一つにしなくても経済圏は勝手に動きますからね。

そして最後に、九州と中国の結線点が重要です。関門トンネル。この大動脈となる線が、将来的にもしものことがあった時に切れてしまったら、たちまち動脈は機能不全となってしまいます。ですから第二関門橋道路が必要となってくるのです。これはやはり国家プロジェクトとして求めていかなくてはなりません。採算の問題ですが、公共事業を行なうのは採算だけではありません。採算だけでしたら民間ができる仕事です。そうではなくて、公共投資をして橋梁工事の技術の伝承を行なうことに意味があるのです。

これからの両市の発展を願うと 「関門」より「関北(かんぼく)」という言葉が適切。

松尾 今後についてはやはり、北九州経済圏全体で見ていくことが両市の発展に不可欠だと思います。例えば観光という視点で見ても、北は依山温泉のあたりから南は苅田町・行橋市あたりまで含めてもっと広い範囲で一つのエリアとして考えていかなければ、お互いの地域が生き残っていけないのではないのでしょうか。

そういえば以前、JR小倉駅前、JCに関連した街頭アンケートを行ったことがあるのですが、下関市から来られている方が結構多くて驚いたことがあります。それは下関側からすると好ましい事ではないかもしれませんが、下関市民のこちらに向けての心の距離感

は、我々が思った以上に近いのだと感じました。「関門」という言葉だけでは、どうしても関門海峡の対岸だけの話になってしまいます。このことから両市の発展を願うと「関北」という言葉のほうが適切だと思っています。

中尾 それはありますね。下関市も一市四町の合併で広くなり、すぐ隣が長門市、そして美祿市。やはり下関市は長門市と美祿市とは連携していかなければなりません。それは経済や観光もそうですが、猪や鹿などの鳥獣被害の対策、消防・防災などといった連携も必要です。山口県の4分の1は北九州の方に向いていると思うのですが、北九州市と仲良くしましようというのは、下関市から見ればまず門司なのですよ。先程も申し上げましたが、まずは門司との連携を強化していかなければならないと感じております。

松尾 地域の将来ビジョンをミクロとマクロの両方の目線を持って持ち、それを周辺地域と共に共有すること、現実的に動かしていくことが以前より強く求められているような気がします。私的には、先ほどから申し上げていますが北九州市として生き残っていく為にどうするか。そう考えた時に「関門海峡」という財産がある。しかしそれだけでは対岸のみの発展である、なのでもっと大きなエリアの発展を目指すとして「関北」といったエリアでどう考えていくかという発想になるのかなと思って意見を述べさせて頂きました。

海峡沿いの「あかり」をもっと増やし、 関門を函館や小樽より有名な夜景の名所に!

松尾 さて、次に下関市長として北九州市に望むことは何かございますか。

中尾 これはお互いの話になるのですが、夜の「あかり」です。この関門海峡の「あかり」は今すごいんですね。これをもっと増やしたほうが良いと思います。そうすれば北海道の函館や小樽より有名になります。これはお互いにメリットがあることですので、いずれ提案しようと思っております。

例えば、門司側の新たな海峡沿いの「あかり」は下関市が負担する。下関側の新たな海峡沿いの「あかり」は門司区が負担する。お互いに「あかり」を見せ合おうという考え方です。きっとすごい帯になることでしょう。

函館では、各家庭や施設が協力して、夜間のある一定の時間まではカーテンを閉めないという話を聞いたことがあります。関門地区も行政だけではなく、そういった市民や企業を巻き込んで、この「あかり」に取り組みれば、素晴らしい名所になります。そうすれば、夜景を見に来る観光客や宿泊客も増えますからね。

松尾 なるほど。それは面白いですね。この地域でしか出来ない取り組みですよ。

**まちづくりはそう簡単にはいかない。
だからこそ若い人の知恵やアイデアが重要。**

松尾 ところで、話は変わりますが、社団法人日本青年会議所の全国会員大会が毎年10月に全国各地で行なわれておりまして、今年は10月に沖縄県那覇市で開催され、来年は神奈川県小田原市で、2011年は愛知県名古屋市で行なわれることが既に決まっております。そして去る10月15日に、2012年は北九州市で開催されることが正式に決定いたしました。そうすると、ますます、運輸・宿泊・観光といったさまざまな分野で下関市との連携が必要になって参りますので、先ほどの市長のアイデアも含めて、共に考え実際に実行していかなければならないと思っております。

中尾 それは是非とも期待したいですね。互いに宜しくお願い致します。まちづくりというのはそう簡単にはいかないものです。行政に任せても、市長が何でもかんでも出来るわけではありません。むしろ市長は行政の枠というものがあって、なかなか出来ない事が多いものです。だからこそ若い人の知恵、アイデアというものが重要でしょうね。

松尾 そうなるとまさしくJCの役割ということになるのでしょうか、ここからはJCの先輩でもある中尾市長から、JCに対する期待感や、今後我々がどのようなことを目指すべきかというご意見を伺いたいのです。

中尾 最も印象深いのは、JCは世界に繋がっているということです。

JCはスキルアップに繋がる最高の訓練の場。

中尾 それから私がいつも感じていたのが会社経営の二代目が多いですよ。しかし二代目に甘んじては駄目です。二代目が良い方向に向かうというのは割と少ないと思います。創業者のスピリットを忘れてはいけません。それを研修としてもう一度できることを考えると、JCは最高の場だと思います。JCは会社経営より更に難しいですよ。会社でしたら、職員を雇っておりますので、給料を渡して「俺の言うとおりにしてこい」などと命令ができますが、JCで命令などしていたら、お互いが経営者ということが多いので、「何故お前の言うことを聞かなければならないのか」となりますよね。ですから会社と違い、お互いしっかりやろうと頑張っていかなければなりません。まさしくこれがスキルアップに繋がります。これは非常に良いことだと思います。JCとはそういう訓練の場ですよ。

マニフェスト型討論会の中間検証を!

それからJCへの希望がもうひとつございます。今盛んにマニフェスト等の公開討論会を行なっておりますよね。JCが先取りして行なっておりますけれども、今度はこれを検証して欲しいと思います。4年に1回の選挙でしたら、途中の2年後に検証をする。また4年後に行なうと、それまでマニフェストだ、討論会だ、と言っていたJCがその間に何のチェックをしたかということになります。是非ともこの中間での検証を行なって欲しいですね。いずれにしても、「馬関まつり」をはじめ、この下関市も若い力に支えて頂いております。下関市でしたら、JC、21世紀協会、商工会議所青年部。やはりこの3つがそれぞれ受け持って頑張っております。特にJCには今後もその若さとパワーに期待しておりますよ。本日はありがとうございました。

松尾 これからも市長の期待に負けぬよう両地域の発展にむけて、我々もまちづくりの運動を強く推進していきたいと思っております。こちらこそ貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。



社団法人北九州青年会議所 台北公式訪問

開催日 ■ 10月23日(金)～25日(日)
場 所 ■ 台北市内

10月23日～25日の3日間で、台湾の台北JCへの公式訪問が行なわれました。本年は、台北JCとの姉妹締結当初から行っているIFP児童交換事業が40回目を迎えた記念すべき年で、8月には北九州市にて盛大な記念式典を行いました。

今回の公式訪問では、北九州JC現役メンバー16名およびOB4名とともに訪問し、台北JCとの40年に渡る長き「友情」を更に熱く深めてまいりました。季節はずれの大型台風が接近しており心配していましたが、8月に引き続きまたも奇跡的に台風は進路を変更してくれたため、予定通り台北の友人たちと再会できました。初日に行われたシスター会議では、次年度の公式訪問やIFPの日程等話し合い、今後も末永く深い交流を進めていくことを約束しました。夜のパーティでは、たくさんの台北JCメンバー、OBの方々々と盛り上がり、また平原委員長のお誕生会をサプライズで用意していただくなど、大変なおもてなしをいただきました。今回の公式訪問で築いた友情を次年度以降も更に深め、多くのメンバーにも体験してもらい、今後も「国際的視野を持った人材の育成」を行って参ります。謝謝!!

台北交流事業委員会 阿納 勉



到津の森公園「夜ZOOで秋まつり」

開催日 ■ 11月1日(日)
会 場 ■ 到津の森公園



11月1日、到津の森公園にて、102社の企業様から協賛頂き「到津の森からの会」主催、アカデミー第3委員会主管による、「到津の森公園夜ZOOで秋まつり」が開催されました。

今回のイベントは、到津の森公園が市民にとって「私たちの公園」であることを再認識して頂き、更なる発展を遂げるため、また青少年健全育成事業「積木の箱」助成事業として開催され、環境問題を自然と動物を通して知るスタンプラリー、『いきいき人間教室』と題して仮面ライダーショー、夜ZOOならではの花火ファンタジーを開催致しました。

しかし生憎の雨で来園者数が523名にとどまり、降雨の中、スタンプラリーは縮小を余儀なくされましたが、夕方からの仮面ライダーショーや花火ファンタジーには450名を超える多くの方にお集まり頂きました。パンフレットを握りしめ園内を走る子どもたちや、雨の中、目を輝かせて仮面ライダーの登場を待つ子どもたちを見ることができました。

アカデミー第3委員会 安河内 克枝

※ IFP…International Family Projectの略。台北JCとの姉妹JC締結を期に始まった児童交換事業で毎年交互に訪問と受入を行う。

もったいないスクール2009「青空がほしい」プロジェクト 親子でもったいないスクール

開催日 ■ 11月3日(火)
会場 ■ レインボープラザ レインボーホール

11月3日、八幡東区レインボープラザ地下1階のレインボーホールにて、(財)北九州活性化協議会もったいない総研との共同主催による、もったいないスクール2009「青空がほしい」プロジェクト～親子でもったいないスクール～が開催されました。『「3R=もったいない」を親子で楽しく学び体験しよう!』をテーマに、映画「青空がほしい」のリメイク版と劇を鑑賞し、「Reduce(リデュース)」を学習。次に、使い終わったペットボトルとソーラーパネルでソーラーカーを作り、実際に走らせることで「Reuse(リユース)」を学びました。また「まつり起業祭八幡」開催中の会場内に出て、「Recycle(リサイクル)」をキーワードに、『探検!環境大発見オリエンテーリング』を実施しました。インフルエンザの猛威等で事前参加登録者数が伸び悩み、不安でしたが、当日は80名以上の小学生とその親御様に参加して頂きました。半日という短い時間の中でしたが、多くの親子の環境意識の向上に繋がったのではないかと思います。

各委員会の皆様のご協力のおかげで、トラブルもなく実施することができました。ありがとうございます。

「青空がほしい」プロジェクト特別委員会 副委員長 溝渕 浩太



社団法人日本青年会議所 九州地区 福岡ブロック協議会 アカデミーグループ閉校式

日時 ■ 11月3日(火) 13時30分～20時30分
会場 ■ JALリゾート シーホークホテル福岡

11月3日、JALリゾートシーホークホテル福岡にて、福岡ブロック協議会アカデミーグループにとって最後の事業となる閉校式が開催されました。

セレモニーから始まり、第二部の講演会では講師に中村文昭氏をお迎えし、時間が足りない程の、ためになる楽しいお話をいただきました。講演会終了後には閉校式が行われ、福岡ブロック協議会の役員の皆様や21LOMの理事長の皆様、そして北九州JCメンバーの皆様に見守られながら、私たちは無事に卒業する事が出来ました。しかしこれで終わりなのではなく、これからが本番です。一年間の経験をいかせるよう邁進して参ります。

この福岡ブロック協議会アカデミーグループは、JC入会3年未満のメンバーが一度しか入れない貴重な経験の出来る場です。まだ経験されてない方は、来年是非とも出向される事をお勧め致します。一年間ありがとうございました。

(社)日本青年会議所 九州地区 福岡ブロック協議会 アカデミー第2委員会 松成 七重



11月度例会(事業報告例会)

日時 ■ 11月9日(月) 18:30～
会場 ■ ホテルニュータガワ

11月9日、ホテルニュータガワにて(社)北九州青年会議所11月度例会が開催されました。

冒頭の理事長挨拶では、去る10月15日に全国会員大会沖縄那覇大会で行われた日本JC理事会において、北九州JCが第61回全国会員大会の主管LOMに決定した報告がありました。また、北九州国際会議場にて11月10日に開催される「(社)日本青年会議所2012年度第61回全国会員大会主管青年会議所決定報告会」では、今までご支援をいただいた皆様とともに喜びを分かち合い、2012年度の全国会員大会に向けて新たな一歩を踏み出そうとのお話がありました。その後行われた2009年度セネターズクラブ認証式では、北九州JCセネターズクラブ会長の富澤善和先輩をはじめとする諸先輩方にご参加いただきました。

そして事業報告では各委員会の報告が行われ、メンバーが1年間6つの運動方針のもと行ってきた事業を振り返り検証するとともに、今後のJC活動へとつなげ、更なるLOM発展を目指していく例会となりました。

例会委員会 古海 慎二郎



Topics! 北九州JC、2003年仙台大会以来3度目の全国優勝!! 第25回全国JCサッカー選手権大会 in 秋田

開催日 ■ 10月24日(土)・25日(日)
会場 ■ 秋田市内

大会の設営をしていただきました秋田JCのみなさまをはじめ、ご支援・ご協力・ご声援をいただきましたみなさまに感謝申し上げます。



北九州の応援団

北九州JCは、ニューウェーブ北九州・到津の森公園をはじめ、わがまち北九州を応援します。



月刊ニューウェーブ通信 ニューウェーブをカメラ越しに見てきて

今年はリーグ戦の全試合を放送してきました。ホームゲームでの撮影は過去のシーズンにもあったのですが、今年は皆さんがなかなか見ることのできないアウェイでの試合も放送し、敵地へ行くことのできないサポーターの皆さんに選手の勇姿を届けてきました。



J.com北九州
今村 修さん

シーズンを通じてカメラ越しにチームを見てきて感じることは、本当に「最後まで諦めずにやり切ることが出来る!」ということです。そして監督・選手・スタッフの皆さんがチーム一丸となって戦っていることを表情から感じることができます。また、サポーターの皆さんが全国どここの会場に行っても応援に駆けつけてくれるんです。どちらのホームゲームも分からない時もありました(笑)。感動を与えてくれるチームを「まちのシンボル」となるようみんなで応援しよう!!



SEICHO MATSUMOTO 100th Anniversary Year | 2009 Kitakyushu City

松本清張生誕百年

記念事業・イベント開催中!

詳しくはホームページで <http://www.seicho-100.com/>

ニューウェーブ北九州 J2昇格へ!

JFL4位以内・平均観客動員数3,000名以上の、
昇格条件をクリア!!
Jリーグ臨時理事会の承認を経て、
北九州初のプロスポーツチームが誕生見込み!



来季より「ニューウェーブ北九州」は「ギラヴァンツ北九州」に!
「ギラヴァンツ北九州」応援歌募集!!

応募締切:2009年12月18日(金)必着

ギラヴァンツ北九州を応援する「メッセージ」や「ことば」を募集します。集まった「ことば」は大内義昭氏はじめ選考委員で選考し、それを繋いで歌詞を作成し、大内氏がメロディーをつけ、応援歌を完成させます。



詳しくはHPで <http://newwave-k.co.jp/>

到津の森公園 Staff Column Event Information

到津の森公園でSAGAが開催されました。

SAGAとは、「アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い」の頭文字です。これまでの活動は、研究者とNGOなどが大学内で行うシンポジウムが主でした。しかし数年前より動物園も参加。開催場所も大学と動物園の2か所で行われ、より広範囲な人々が参加するようになりました。過去に京都、名古屋、東京の動物園で開催されましたが、今回初めて地方へ。11月14日・15日、北九州市立大学と到津の森公園との共同開催でした。以前、フィールド等の研究者と動物園の担当者が同じ場で話し合うということはありませんでした。が、急速に悪化する自然環境を前に、同じ分野で活動する人々の力を結集する必要がでてきました。しかも、それは今という時しかありません。個々の力を携え集まってこそ新たな世界があるのではないのでしょうか。到津の森公園は新しい一歩を踏み出しました。

到津の森公園 園長 岩野 俊郎さん

到津の森のクリスマスフェア

12月2日(水)~12月25日(金)

カップル対象 イベント 恋のメッセージカードを贈ろう!
恋の診断ラリー
12月6日(日)・13日(日)・20(日)・23(祝)・25日(金)
9:00~17:00(無料) ※夜間開園時は20:00まで
南北両ゲートにてカード・ラリー冊子配布

ソウ&チンパンジーに
特製クリスマスケーキのプレゼント
12月20日(日)・23日(祝)・24日(木)
12:00~ソウ 15:00~チンパンジー

わくわく体験教室「クリスマスグッズを作る」

12月 6日(日) クリスマスリース作り
12月20日(日) ステンドグラス風モビール作り
時間 ● 13:00~15:00
場所 ● 里のいきもの館
レクチャールーム
料金 ● 【リース】300円
【モビール】100円

※受付は13:45まで(材料がなくなり次第終了)。別途入園料が必要です。

詳しくはHPで <http://www.kpfmmf.jp/zoo/>

※イベント内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

Christmas
ITOZU YORU ZOO
夜の動物園
12月19日(土)
~25日(金)
夜8時まで営業
夜だけの特別イベント開催!!

社団法人日本青年会議所2012年度第61回 全国会員大会主管青年会議所決定報告会を開催しました



2007年度より北九州JCは、(社)日本青年会議所が主催する最大規模の事業である、全国会員大会の誘致運動を続けてまいりましたが、去る10月15日、日本青年会議所理事会にて、2012年度第61回全国会員大会の主管青年会議所に選ばれました。理事会当日、会場には北九州JCの現役メンバーやシニアメンバーとともに、九州地区や福岡ブロック協議会、北九州市役所からも多くの方々にお越し頂き、決定の瞬間を共有して頂きました。我々もこれまでの3年間の誘致運動を振り返り、感慨深く、また喜びもひとしおでした。また、11月10日には北九州国際会議場にて報告会が開催され、多くの方々にお越し頂き、北九州での全国会員大会開催と我々メンバーへの期待の大きさに、その責任の重さをあらためて実感いたしました。2012年度の開催に向けて、より具体的に、より鮮明にイメージできるようにしていくことと同時に、開催後の北九州というまちがどのようなまちに変化するのか、今こそ北九州JCがリーダーシップを発揮するときがやってきました。大会成功に向けて、多くの皆様と共に「心をひとつに」準備を進めていきたいと思います。今後とも皆様のご支援・ご協力をよろしく願いたします。

全国大会誘致委員会 委員長 岡本 興大

12月度例会のご案内

日時 ■ 12月9日(水) 18:00~23:00
会場 ■ リーガロイヤルホテル小倉
4階 ロイヤルホール

12月度例会は毎年恒例の「例会・卒業式・懇親会」の3部構成で開催いたします。今年度は44年生まれの「アポロ44号」のメンバーの皆様がご卒業されます。卒業式・懇親会にはOBの方々にもご参加いただき、メンバー全員でアポロ44号の皆様の卒業を祝福させていただきたいと思います。恒例の卒業生パフォーマンスも行われますのでご期待下さい。また、今年度の褒賞授与式も開催いたしますので、多くの皆様方のご参加を心よりお願い申し上げます。

お問い合わせ先: 例会委員会 委員長 辰本 誠一郎

2009年10月度臨時総会にて以下総会決議いたしました。
除名 杉山 陽三 三澤 佳弘

卒業例会
卒業生
パフォーマンス
褒賞授与式
etc.

北九州青年会議所

検索

<http://www.kitakyushu-jc.jp/>

ホームページで新着情報・イベント情報や活動報告を今すぐチェック!



ケータイからも
アクセスOK!

※機種により閲覧できないページや画像があります。

